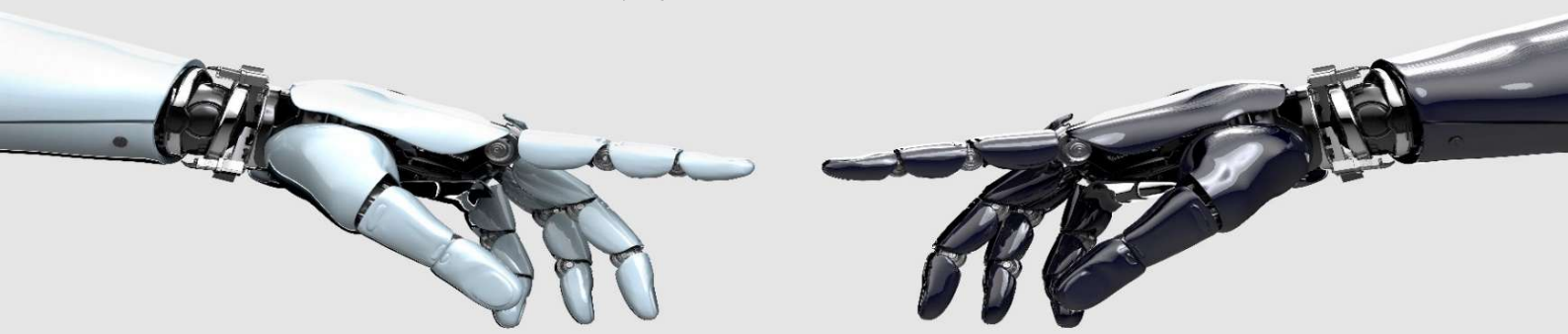
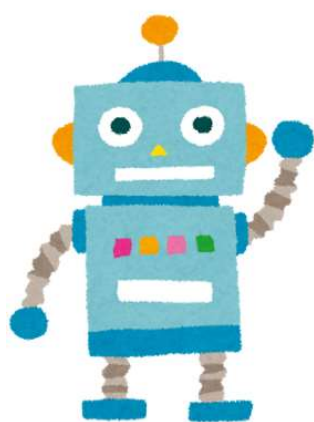


RPA導入支援トータルプロデュース



導入から運用まで一括サポート！



Robotic

Process

Automation

RPAとは、

(R)ロボティック(P)プロセス(A)オートメーションの略で、PC上で行う業務をロボットで自動化することを指します。

PCへのデータの入力や転記、ファイルの複製、メール送信といった単純作業の業務を自動化して作業時間を削減できます。

お客様の状況に応じてご希望の規模で導入できます。

まずは1つの業務プロセスを自動化して効果を実感してから、適用範囲を拡大していただくことも可能です。

RPAを導入する目的・メリット！

従業員満足度の向上

RPAを導入すると、業務効率化により従業員の満足度が上がります。RPAによって代替される業務は、テキストのコピー＆ペーストやファイルの移動といった、判断を必要としない単純作業です。単純作業を自動化することで、クリエイティブな仕事に集中できるようになります。

人的コストの削減

定型業務の自動化による人的コストの削減も大きなメリットのひとつです。RPAで従業員満足度が向上すれば、転職率が下がり、採用や教育にかかるコストの軽減できます。人的リソースを削減できるRPAは、機械的な労働者という意味で「デジタルレイバー」と呼称されることもあります。

業務の精度を改善

長時間労働では、どうしても集中力が切れてしまい、仕事の精度が下がってしまいます。一方で、RPAは24時間365日稼働でき、決められたルールに対して高い精度で業務をこなしてくれます。単純作業の繰り返しにはRPAを導入するメリットが大きいといえるでしょう。

01 RPAとAIの違い

RPAとAIの違いは、**判断を自動で行うか、行わないか**です。

RPAは、製作者によって決められたルールどおりに行い、業務を確実に行います。

AIは、大量のデータにもとづいてシステム自身で判断し定められた業務をこなします。

	R P A	A I
特徴	決められたルールに基づいて処理	ビッグデータに基づいて判断を自動化
メリット	定型業務を正確にこなす	判断が必要な業務をこなせる
デメリット	判断は人間が決めておく必要あり	判断の正確性はAIによって異なる

02 RPAとVBA(Excel マクロ)の違い

RPAは、ツールにもよりますがアプリケーションを問わず幅広く自動化でき、プログラミングがわからずともある程度実装可能です。一方で、Excelでマクロと呼ばれるVBAは、Office アプリケーションを中心に自動化し、プログラミングを必要とします。

	R P A	V B A
Officeアプリケーション以外の自動化	できる	あまりできない
プログラミングの必要性	基本的に不要	必要

03 RPAの3つのクラスの違い

RPAは対応できる自動化レベルにより、次の3つのクラスに分類されます。

・クラス1 : RPA (Robotic Process Automation)

従来型のRPAのことで、定型業務のみの自動化に対応しています。主に入力作業や検証作業などに用いられます。

・クラス2 : EPA (Enhanced Process Automation)

EPAとは、AIと連携してデータを解析し、ある程度の非定型業務も自動化できるものです。画像解析や音声解析などに用いられることもあります。

・クラス3 : CA (Cognitive Automation)

CAとは、高度なAIと連携してロボット自身が判断するため、ほとんどの業務プロセスを自動化できます。AIによるデータ分析を迅速に経営戦略に活かすことも可能です。

04 導入支援トータルプロデュース

弊社ではRPA導入による自動化の提供にとどまらず、業務プロセスのヒアリングを現場立会いにて行った上で、業務フロー作成と自動化の範囲をご提案いたします。さらに前後のシステムを改修・補完するプログラムの開発により自動化範囲を拡大するなど、**お客様の業務効率向上をトータルプロデュースいたします。**



業務プロセスの
ヒアリング
(現場立会い)

ヒアリング結果を
分析し業務を可視化

業務フローを作成し
自動化範囲をご提案

ご提案内容の特徴

1. 小規模業務の負担軽減にも効果

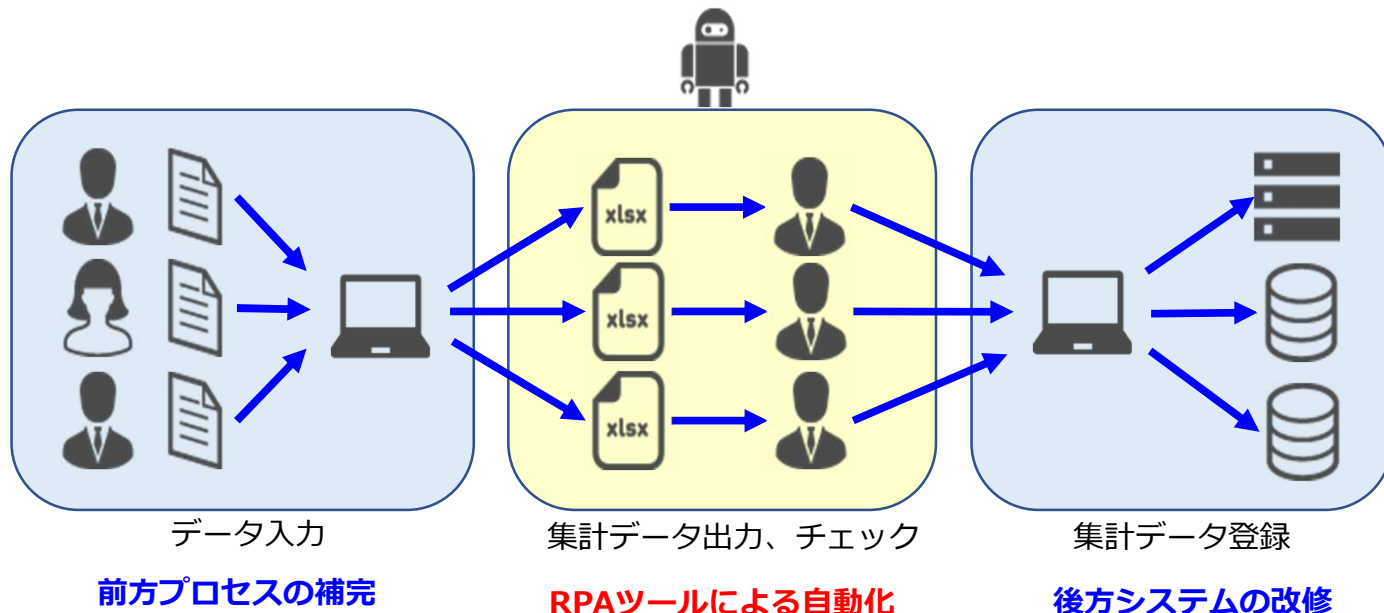
大きなチームだけでなく、1人～数人が担当する業務の負担軽減にも効果を発揮します。まずは1つの業務プロセスを自動化して効果を実感してみませんか？その後RPAの適用範囲を拡大いただくことも可能です。

2. 自動化の範囲を拡大可能

RPAツール前後のシステムを改修・補完するプログラムの開発も行うことにより、適用箇所にとどまらず、業務自動化の範囲を拡大可能です。

3. アウトソーシングも対応

業務効率向上と合わせて、弊社オフィスでのアウトソーシングも対応いたします。



データ入力

前方プロセスの補完

集計データ出力、チェック

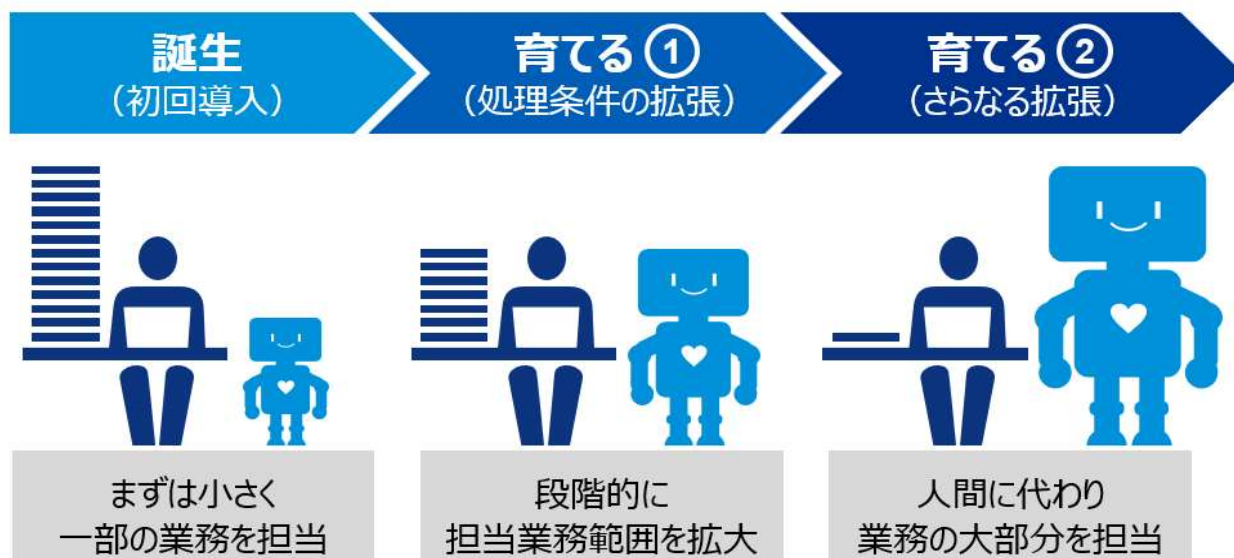
RPAツールによる自動化

集計データ登録

後方システムの改修

05 RPAツールの導入～拡張

お客様の状況に応じて、ご希望の規模で導入いただけます。
まずは1つの業務を自動化して効果を実感してから、適用範囲を徐々に拡大していただくことが可能です。



下記の作業を含む業務をロボットに任せる事ができます。



データ入力



検索



ブラウザ操作



データ出力
(ファイル作成)



ダウンロード



Excel操作



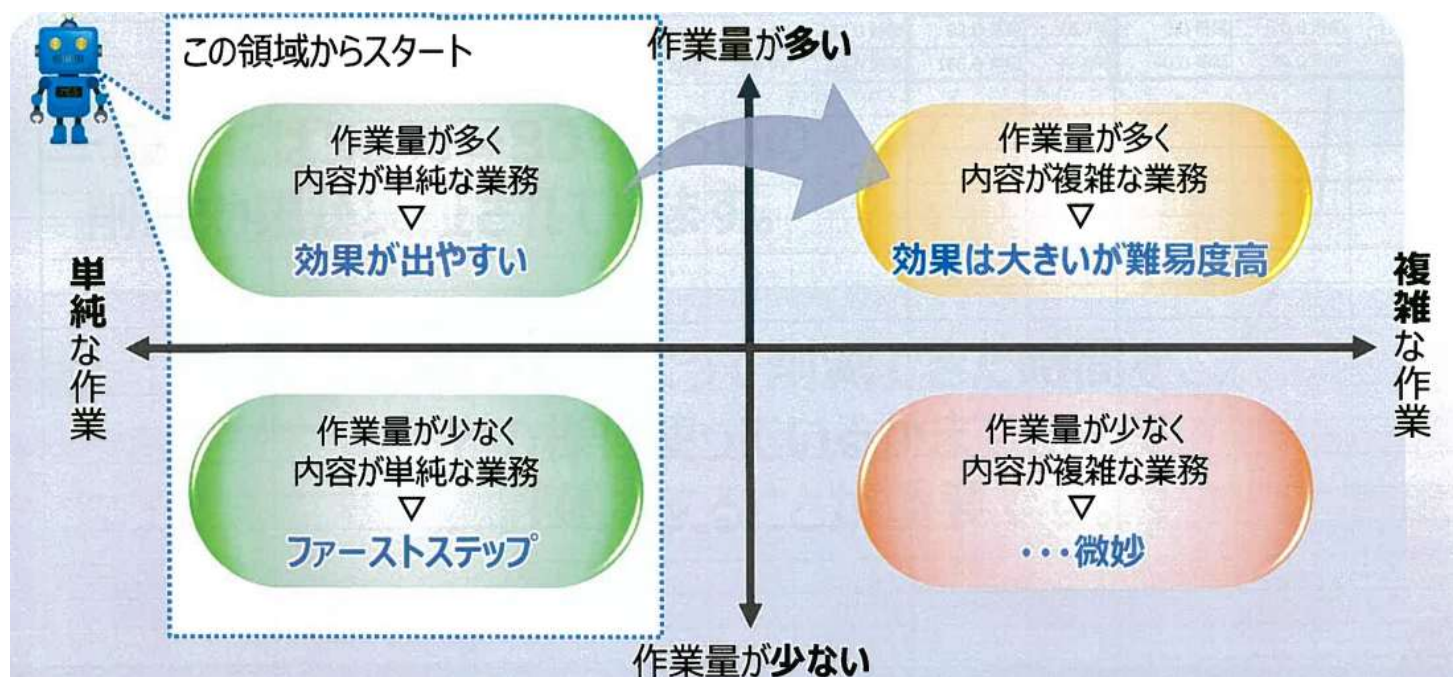
メール送信



システム間連携



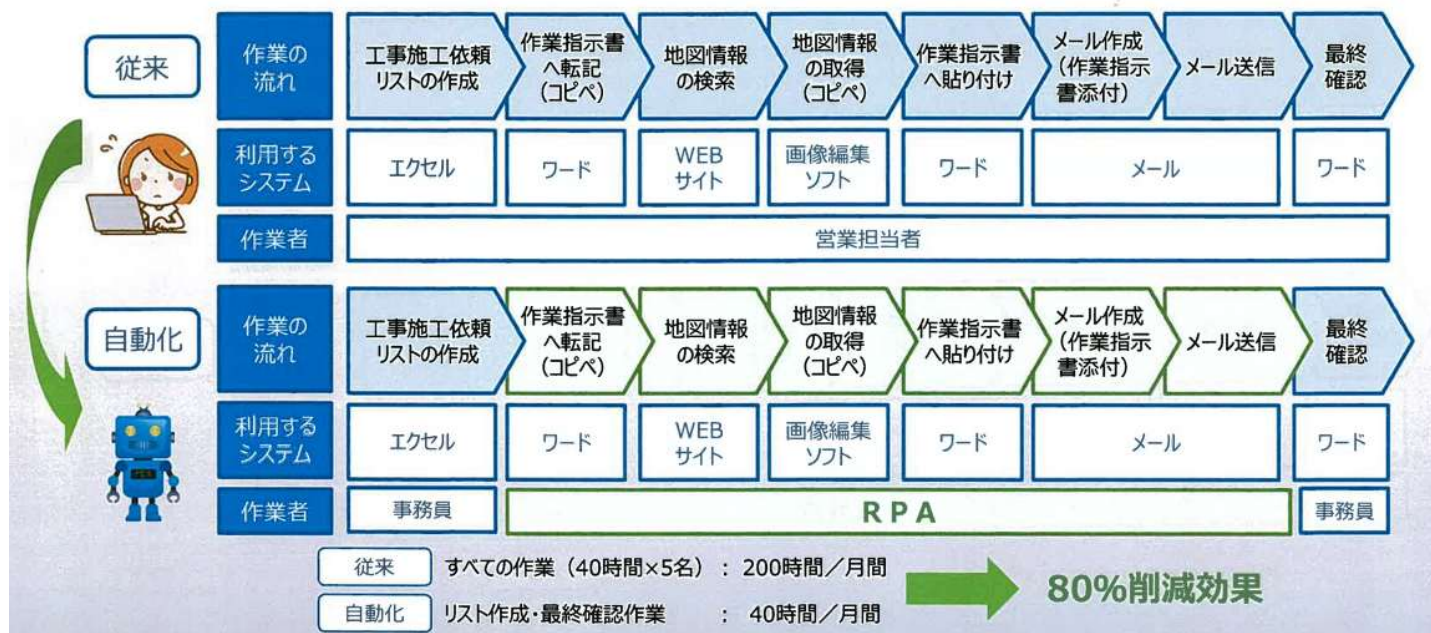
CSV処理



06 導入による期待効果

RPAではシステムを人間と同じように『操作』できるため、通常必要となるプログラム開発を必要とせず、人間の補完として既存業務を遂行できます。

人間の作業をロボットに任せる事で、労働時間を削減できます。



RPA導入効果測定（弊社RPA化業務にて測定）

RPA導入効果測定シート

業務名	導入前			導入後			削減時間 ①ー②	削減率	他業務への 投下
	作業所要 時間 (1名/月)	人員数	時間換算 ①	作業所要 時間 (1名/月)	人員数	時間換算 ②			
作業報告ダウンロード									
①11月分(チェック用)	30分	1名	30分	7分	1名	7分	23分	76.7%	23分
②11月分(最終、保存用)	30分	1名	30分	7分	1名	7分	23分	76.7%	23分
③12月分(中締め作業時間確認用)	30分	1名	30分	7分	1名	7分	23分	76.7%	23分
長期滞在外出張精算申請									
①申請⇒給与資料転記	60分	1名	60分	10分	1名	10分	50分	83.3%	50分
②最終チェック+定期の確証ダウンロード+印刷	30分	1名	30分	15分	1名	15分	15分	50.0%	15分

↑ RPA導入後、担当者が該当業務に要した時間

一般的には50%~80%くらいの削減効果が実証されています。

削減した時間を、これまで手付かずだった業務への対応や、より付加価値の高い業務へ人員をシフトすることが可能です。

07 RPA導入サービス費用

弊社の優秀なスタッフ（RPA技術認定資格保有）が全力で導入までサポートします。

サービス内容	説明	作成物	費用
業務分析	RPA導入にあたっての業務カウンセリングを行います。	業務フロー（RPA適用後）	個別見積もりになります。 4,000円/h～
ロボット開発 研修	ロボット作成の研修を行います。	ロボット作成研修	
ロボット構築	RPA導入対象となった業務に対するロボット構築を行います。	ロボット設計書 ロボット定義 テスト結果報告書	
保守サポート	ロボットの安定運用のための、管理体制の構築支援や不具合の修正対応です。	各種支援	

全て個別見積りになります。まずは、弊社までお問い合わせください。

08 RPAライセンス

	Power Automate Desktop	Power Automate
開発・実行環境	パソコン	Microsoft Azure
実行方法	パソコンで起動し、手動操作で実行される	自動、予定、インスタントなどの条件指定により起動し、自動で実行される
必要なスキル	パソコンでの操作手順などのスキルのみ	コネクタに関する知識・スキル
費用	有償・無償	有償

Power Automate Desktopには、無償版と有償版の2種類が存在します。無償版と有償版の主な違いは、以下の通りです。

無償版

- 主に個人利用向け。
- Windows 10以降のOSで、Microsoftアカウントを持っている場合に利用可能。
- 基本的な自動化の機能が利用できる。
- 特定の時間や条件を指定した自動実行は不可。
- フローの集中管理や、実行状況の確認はできない。

有償版

- 主にビジネス利用や、組織での利用向け。
- Power Automateのライセンス契約が必要。
- スケジュール機能で、特定の時間や条件での自動実行が可能。
- 複数人でフローを共有できる。
- 実行履歴やエラーログがリアルタイムで確認できる。